

第5章 全国の優良被害対策事例

全国の鳥獣害対策活動から、参考になると考えられる事例を集めました。簡単な内容紹介とリンクが掲載してありますので、詳しい内容はHPを参照して下さい。

5-1 農林水産省／鳥獣被害対策コーナーで紹介されている事例

- ・ 鳥獣被害防止に向けた取組事例（平成26年7月）

http://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/pdf/h26_7_15_yuro_meguji.pdf

- ・ 追い払い犬（モンキードッグ等）を活用した獣害対策の取組状況（平成25年度）

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/pdf/25saru.pdf>

- ・ 野生鳥獣を地域資源として活用している事例（平成26年6月現在）

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/pdf/sisetu.pdf>

5-2 野生鳥獣に負けない集落づくり：長野県

- ・ 野生鳥獣に負けない集落づくり事例集

<http://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/sangyo/ringyo/choju/jirei.html>

長野県ではサル、イノシシ、シカなどの被害が深刻で、被害対策に関する要望が多く寄せられたことから、平成19年に関係部局が連携し、総合的・効果的な対策を推進するため、平成19年11月21日「[野生鳥獣被害対策本部](#)」を設置しました。野生鳥獣に負けない集落づくりのために欠かせないリーダーの育成に取り組むなどした結果、各地で精力的な活動が行われています。



図 5.2 小諸市南ヶ原地区のイノシシ・ツキノワグマ対策 出典：長野県 HP

5-3 鳥獣に強い地域づくり：島根県美郷町

農作物直売所「青空サロン市場」、獣害対策実験ほ場「青空サロン」、イノシシ肉等の製品加工グループ「おおち山くじら倶楽部」など、地域住民を取り込んだ活動により成果を上げています。地元の試験研究機関である（独）農研機構近畿中国四国農業研究センターとも鳥獣害に関する包括的研究連携協定を締結し、試験研究の成果を現場に活かす取り組みも行っています。



図 5.3 農産物直売所：青空サロン

参考資料：

鳥獣に強い地域づくり：島根県美郷町

5-4 鳥獣に負けない集落づくり：福島県二本松市

二本松市は、以前からツキノワグマ、イノシシによる農作物被害が発生しておりましたが、最近イノシシによる被害が市全域に拡大し、深刻な問題となっております。そこで、イノシシ、ツキノワグマ等による被害に対応するため、本所・各支所、関係機関が連携して対策の推進を行っています。本所・支所担当者が集まり定期的な打ち合わせ会を開催し、地図（図 5. 4a）を活用した対策進捗状況、捕獲状況等の現状の把握と情報共有を通じ『先手の対策』を地域へ提示できるよう努めています。

また、平成 17 年度に高井集落で行われた中山間直接支払事業を活用した集落ぐるみの電気柵設置（図 5. 4b）がモデルとなり、『集落ぐるみのイノシシ対策』が地域全体に波及し、国交付金事業や中山間直接支払事業、市単独事業を活用した電気柵設置と電気柵維持管理作業が進められています。



図 5. 4a 被害状況・対策、捕獲状況地図
（本所・各支所で掲示）



図 5. 4b 集落ぐるみでの電気柵設置
（二本松市高井集落）